

# 第2章

## ロードレース編

### — オリンピックが御殿場市にやって来た! —

御殿場の歴史上一番熱い夏となった2021年。

7月23日（金）に開幕した東京2020オリンピック。

オリンピック史上初の延期を乗り越え、開会式翌日から開催された自転車競技ロードレースは御殿場市の街並みが映像を通して世界中へ発信され、その感動と興奮が多くの人々の心に深く刻まれた。

2018年のコース決定時、ロードレースは多くの御殿場市民にとってなじみのないものであった。また、開催に伴う交通規制への対策など多くの課題があった。「開催会場・御殿場市」として大会を迎えるまでに、ロードレースの魅力を最大限引き出し大会に向けた機運を盛り上げるとともに、円滑な大会運営に向けて取り組んできた御殿場市及び市民の活動をここに記録する。

# ロードレース開催会場決定の経緯

## 御殿場にオリンピックがやってくる！

2018年8月9日(木)、大会組織委員会より東京2020オリンピック自転車競技男女ロードレースのコースが公表された。2013年の東京オリンピックの開催決定時からコースは大幅に変更され、東京を出発し、日本を象徴する富士山麓を走行するコースとなった。市内もコースの一部となり、以降、御殿場市は東京2020オリンピックの開催会場自治体として、機運醸成、交通対策、大会運営への協力等、様々な取り組みを進めていくこととなった。

## 2013年 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定

9月

2013年9月7日(土)、ブエノスアイレス(アルゼンチン)にて開催された第125次国際オリンピック委員会(IOC)総会において第32回オリンピック競技大会の開催都市に東京が選定された。

自転車競技については、立候補ファイル提出時4種別(ロードレース、MTB、トラック、BMX)の全てを都内にて開催する計画で、ロードレースについては、皇居外苑をスタート会場とし、都内を周遊した後、武蔵野の森公園をゴール会場としていた。



## 2015年 「オリンピック アジェンダ 2020」に基づく大会会場の見直し

その後、大会予算の削減方針及び2014年12月に開催されたIOC臨時総会において採択されたオリンピックの中長期改革計画である「オリンピック アジェンダ2020」による既存施設の活用推進等の提言により、大会会場計画の見直しがされた。ロードレースについては、スタート・ゴール会場を皇居外苑とすることが2015年12月のIOC理事会にて承認された。(トラックとMTBについては、既存施設を活用できるように伊豆市の日本サイクルスポーツセンターを利用することが承認された。)

### 自転車競技ロードレース会場の見直し

既に承認されていた皇居外苑をスタート・ゴール会場とするコースでは道路制限の複雑さやフラットであり十分な高低差が確保できないという競技性の観点から会場を変更し、日本特有の景観が含まれるコース(富士山周辺を走行するコース)とすることが望ましいと国際自転車競技連合(UCI)より要望があったため、よりよいコースとすべく検討が行われた。

## 2018年 スタート・ゴール会場の決定

2月

2018年2月に開催されたIOC理事会において、自転車競技ロードレースの競技会場計画の変更が承認され、男女ロードレースは武蔵野の森公園をスタート会場、富士スピードウェイ(小山町)をゴール会場とすることが公表された。あわせて、個人タイムトライアルのスタート・ゴール会場を富士スピードウェイとすることも公表された。



提供：富士スピードウェイ株式会社

8月

### コースの決定

UCIのコンサルティングをもとにロードレースのコース案が作成され、2018年4月のUCIの視察を経て6月のUCI理事会にて最終承認、そして8月9日(木)、御殿場市を含む1都3県15自治体を通過するコースが大会組織委員会より公表された。コース前半は、東京の街並み、古式豊かな日本の伝統や自然がちりばめられ、後半は世界中の人々が憧れる富士山麓を背景に、日本の山並みを存分に味わえるものとなった。同年10月には個人タイムトライアルのコースも決定。市内を通過するコースが公表された。

10月

# 男女ロードレース・男女タイムトライアルの競技紹介

## オリンピックにおける自転車競技の歴史

自転車は18世紀末頃にヨーロッパで発明されたといわれている。ほどなく貴族階級の間でスポーツとして楽しめるようになった。その後ヨーロッパからアメリカにわたり、アメリカでも普及した。自転車競技は、オリンピック第1回大会のアテネ1896大会から正式競技として採用され、以来途切れることなく行われている数少ない競技である。(ただしロードレースは第2回大会から第4回大会まで開催されなかった)その後、ロサンゼルス1984大会で、自転車競技初の女子種目がロードで採用された。当初はオリンピックの自転車競技はアマチュアのみで門戸が開かれていたが、アトランタ1996大会からプロ選手の参加が可能になり、注目度が高まった。



## 競技概要

種目名	日程	会場	出場国・地域数	出場選手数
男子ロードレース	2021年7月24日(土)	武蔵野の森公園～ 富士スピードウェイ	57	128名
女子ロードレース	2021年7月25日(日)	武蔵野の森公園～ 富士スピードウェイ	40	67名
男子個人タイムトライアル	2021年7月28日(水)	富士スピードウェイ及び周辺道路	31	39名
女子個人タイムトライアル	2021年7月28日(水)	富士スピードウェイ及び周辺道路	20	25名

## 種目紹介～ロードレース

主に舗装された一般道を交通規制し、行われる種目。東京2020オリンピックロードレースコースは1都3県にまたがり、男子は約244km、女子は約147kmを走る長丁場。加えてレースの獲得標高(スタート～ゴールまでの上った高さの合計)は男子が約4,865m、女子が約2,692mとなり、非常にタフなコースとなった。

### 魅力

個人種目になるが、団体戦の要素も併せ持ち、同じ国・地域の選手たちが連携してエースを勝利に導くような駆け引きが繰り広げられる。勝敗を左右する空気抵抗の克服やコーナリング技術、チームワークなど、多くの見どころがあるのがロードレースの特徴。選手とともに走るサポートカー、競技運営車両、報道車両等の多くの車両も魅力の一つである。



## 種目紹介～個人タイムトライアル～

選手が一定の間隔をあけてスタートし、男子は22.1kmのコースを2周、女子は男子と同じコースを1周走り、タイムを競う。コースはアップダウンとタイトなコーナーがあるテクニカルで高難易度なものとなった。

### 魅力

ランキング下位の選手から90秒間隔でスタートしていき、ランキング最高位の選手が最後尾スタートとなるため、ゴールの瞬間まで目が離せないのが特徴。また、周りに他の選手がいない環境で前方からの風圧をまともに受けるため、特殊な構造の自転車やウェア、ヘルメットを使用するが、なにより脚力とメンタルが重要視される過酷な競技である。





# READY STEADY TOKYO 自転車ロード

(東京 2020 大会テストイベント)

## テストイベント、本大会の成功に向けて

本大会の開幕まで1年となる中、本大会の成功に向け、競技及び大会運営能力を高めることを目的に2019年7月21日(日)に東京 2020 大会のテストイベントが開催された。本大会のコースから富士山南麓区間(約 55 km)を除いた、東京都武蔵野の森公園から富士スピードウェイまでの約 189 kmの区間で行われ、世界の有力選手や日本のクラブチーム等から 95 選手が出場。交通規制による渋滞影響の検証や御殿場駅からの観客輸

送テストを行い、本番に向けた関係機関との連携を図った。市内の沿道には多くの観戦客が集まり、本大会に向けた期待感を高めた。選手やチームスタッフにとってもオリンピック本番に向けた戦略を練るうえで重要な大会となった。

また、競技実施にあたり、高根地区の各種団体から選出されたコースサポーター 80 名が活動し、沿道での資材設置撤去や観客の整理にあたった。

### READY STEADY TOKYO 自転車ロード

- 日 時：2019年7月21日(日)  
12時スタート
- START：東京都武蔵野の森公園
- FINISH：富士スピードウェイ
- 距離：189 km  
(スタートから  
10 kmはパレードラン)



テストイベントロゴ



沿道観客



観客輸送テスト



駅前国際交流協会



彩るのぼり旗



コースサポーター



コースサポーター



# 男女ロードレース・男女タイムトライアルのコース 交通規制詳細

## オリンピック史上最も過酷なロードレース

オリンピック史上、最も過酷といわれた東京～静岡間のロードレースコース。スタートからゴールまで一筆書きのルートがとられ、その距離は男子が約244km、女子が約147km（それぞれスタートから10kmのパレードランを含む）。ゴールまでに上った高さの合計である獲得標高は男子が約4,865m、女子が約2,692mと記録の残る北京大会以降で最も多い数字である。

タイムトライアルは、富士スピードウェイを発着として行わ

れ、1周約22.1kmのコースを男子は2周、女子は1周走行した。また、競技の実施に合わせて、コースとなる道路及びそこにつながる枝道において、交通規制が実施された。

また、男子ロードレースコースにおいて、周辺住民への交通対策として、建設中の新東名高速道路がコースの一部として利用された。（小山町一色～上小木の区間）

### コースマップ（東京～静岡全体）

#### ロードレース

START	武蔵野の森公園
FINISH	富士スピードウェイ
男子 総距離	約 244km
レース距離	約 234km
獲得標高	約 4,865m
市内走行距離	約 37.6 km
女子 総距離	約 147km
レース距離	約 137km
獲得標高	約 2,692m
市内走行距離	約 1.8 km

※獲得標高/レース中に上った高さの合計  
※スタート後10kmは男女ともパレード走行

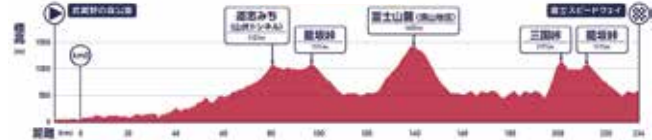
#### タイムトライアル

START	富士スピードウェイ
FINISH	富士スピードウェイ
男子 レース距離	約 44.2 km
女子 レース距離	約 22.1 km

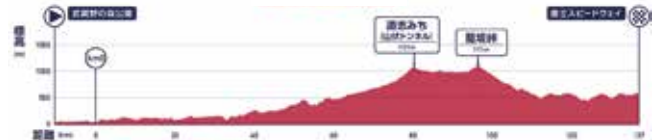
※1周約22.1kmのコースを周回（市内走行距離1.8km）



男子ロードレースコース高低図



女子ロードレースコース高低図



### コースマップ（市内詳細）

#### 御殿場市

男子コース	市内走行距離約37.6km
女子コース	市内走行距離約1.8km

タイムトライアルコース	女子市内走行距離約1.8km
	男子市内走行距離約3.6km



## 交通規制詳細

コースとなる道路及びそこにつながる枝道において交通規制が実施された。周辺住民への影響を緩和するため、先頭車両が通過する10分前までは、指定された横断ポイントにて車両や歩行者の横断が可能となった。

市内の走行距離が約37.6kmにも及ぶ男子ロードレースにおいては、市内が4つのブロックに分割され、先頭車両が通過する90分前より交通規制が開始された。御殿場市内ではブロック2のエリアから12時20分より順次規制開始。(18時過ぎ全面解除)

女子ロードレースにおいても同様にブロック分け(市内は2分割)がされ、14時40分より順次規制開始。(18時過ぎ全面解除)

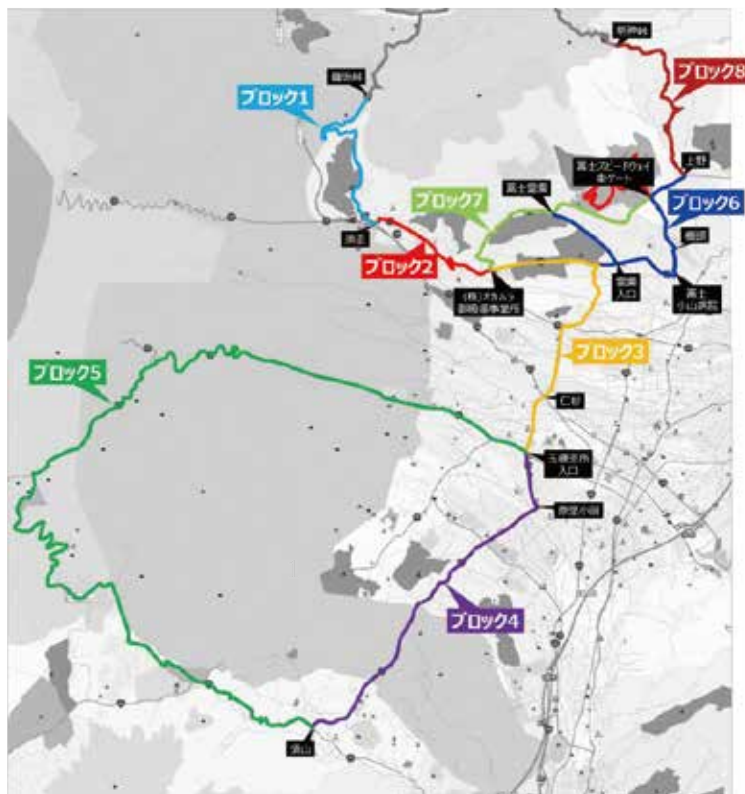
タイムトライアルにおいては、試走では13時45分規制開始、17時30分過ぎ規制解除。本番では、10時15分規制開始、17時30分頃に規制解除された。

### ■ロードレース男子 7月24日(土)

ブロック	区間	規制開始	規制解除
ブロック1	籠坂峠 ⇄ 須走	12:15	18:15
ブロック2	須走 ⇄ (株)オカムラ御殿場事業所	12:20	18:20
ブロック3	(株)オカムラ御殿場事業所 ⇄ 仁杉 ⇄ 玉穂支所入口	12:25	16:35
ブロック4	玉穂支所入口 ⇄ 原里小前 ⇄ 須山	12:35	15:25
ブロック5	須山 ⇄ 水ヶ塚公園 ⇄ 玉穂支所入口	12:50	16:25
ブロック6	上野 ⇄ 富士小山病院 ⇄ 霊園入口 ⇄ 富士霊園	14:00	17:25
ブロック7	(株)オカムラ御殿場事業所 ⇄ 富士霊園 ⇄ 富士スピードウェイ東ゲート	14:00	18:25
ブロック8	上野 ⇄ 明神峠	14:45	17:45

※規制時間は大会前の計画

### 【交通規制区間】



### ■横断ポイント【ロードレース男子・女子 7月24日(土)・25日(日)】

横断場所	歩行者	車両	緊急車両
(株)オカムラ御殿場事業所	○		
かどや商店	○		
かどや商店東	○		
高根小上小林分校	○	○	○
柴怒田コミセン	○		
仁杉	○	○	○
上合入口バス停	○	○	○
玉穂小正門前	○		
中畑交番横	○	○	○
玉穂支所入口	○		

横断場所	歩行者	車両	緊急車両
飯森塚	○	○	○
北畑馬見塚公園	○	○	○
原里小前	○		
原里支所前	○	○	○
ひまわり歯科クリニック	○	○	
板妻	○	○	○
太平洋GC		○	
山王入口バス停	○	○	○
中畑	○	○	○

■ロードレース女子 7月25日(日)

ブロック	区間	規制開始	規制解除
ブロック1	籠坂峠 ⇄ 須走	14:35	17:20
ブロック2	須走 ⇄ (株)オカムラ御殿場事業所	14:40	17:25
ブロック3	(株)オカムラ御殿場事業所 ⇄ 富士スピードウェイ東ゲート ⇄ 富士小山病院 ⇄ 霊園入口 ⇄ 富士霊園	14:45	18:05

※規制時間は大会前の計画

【交通規制区間】



■男女個人タイムトライアル

- ・ 7月27日(火) [ファミリアライゼーション(試走)]

区間	規制開始	規制解除
富士スピードウェイ東ゲート～富士小山病院～(株)オカムラ御殿場事業所～富士スピードウェイ東ゲート	13:45	17:30

※試走実施時間 15:00～17:00

※規制時間は大会前の計画

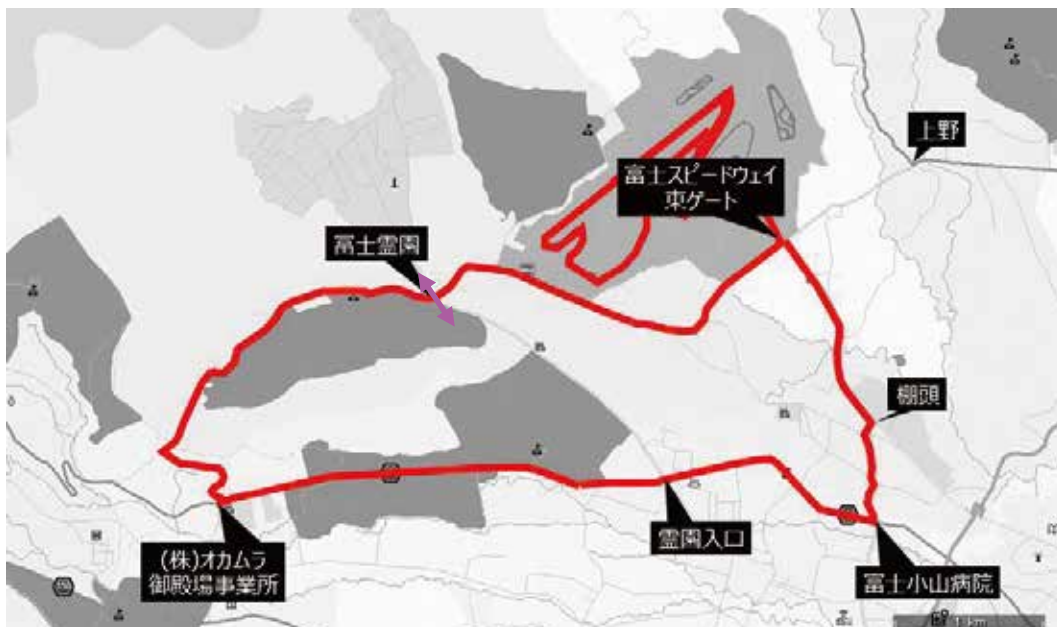
- ・ 7月28日(水)

区間	規制開始	規制解除
富士スピードウェイ東ゲート～富士小山病院～(株)オカムラ御殿場事業所～富士スピードウェイ東ゲート	10:15	17:50

※女子スタート 11:30 男子スタート 14:00

※規制時間は大会前の計画

【交通規制区間】





# 日本代表選手紹介、各種目結果

## 日本から世界に挑んだ選手たちと、世界を熱くさせたレースの行方



写真提供：JCF

新城 幸也 (アラシロ ユキヤ)

生年月日：1984年9月22日  
出場競技：男子ロードレース

ロードレースの第一人者として長く活躍。世界最高峰のツール・ド・フランスに2009年から7回出場。オリンピックは2012年ロンドン大会から3大会連続出場。臨んだ東京五輪、終盤までメイン集団にいたものの、三国峠で離され、35位でフィニッシュした。



写真提供：JCF

増田 成幸 (マスダ ナリユキ)

生年月日：1983年10月23日  
出場競技：男子ロードレース

2020年のスペインの大会で優秀な成績を収め、逆転で代表の座を獲得。交通事故や甲状腺の病気を克服し、その不屈の精神は不死鳥と讃えられる。初出場の五輪、ハイレベルなレースで未完走者が出る中、中盤過ぎまでメイン集団に食らいつき見事完走を果たした。

### 男子ロードレース結果

順位	名前	国・地域	フィニッシュタイム
金	リチャル・カラパス	エクアドル	6:05:26
銀	ワウト・ファンアールト	ベルギー	6:06:33
銅	タデイ・ポガチャル	スロベニア	6:06:33
35	新城 幸也	日本	6:15:38
84	増田 成幸	日本	6:25:16

レースの6日前にツール・ド・フランスで優勝したポガチャルが3位。数々の大会で勝ち続けるファンアールトが2位。ツール・ド・フランスで3位となったカラパスが雪辱を果たし、東京2020オリンピックの覇者となった。

### 男子個人タイムトライアル結果

順位	名前	国・地域	フィニッシュタイム
金	プリモジュ・ログリッチ	スロベニア	55:04.19
銀	トム・デムラン	オランダ	56:05.58
銅	ロアン・デニス	オーストラリア	56:08.09

2018年、2019年のタイムトライアル世界チャンピオンのデニスが3位。デムランが二大会連続の2位。ロードレースにも出場し、両種目の大会でいくつものタイトルを獲得しているログリッチがライバルたちに1分以上の差をつけ、優勝した。





写真提供：JCF

## 与那嶺 恵理 (ヨナミネ エリ)

生年月日：1991年4月25日  
 出場競技：女子ロードレース  
 女子個人タイムトライアル

本場のヨーロッパを拠点に活躍する日本女子ロードレース界の第一人者。2012年に競技歴8カ月で全日本2位になり、無名の存在から一躍脚光を浴びた。2016年のリオ大会から2大会連続出場。ロードではギリギリまでメイン集団で耐え忍んだが、最後の展開に耐え切れず、第2集団でフィニッシュ。タイムトライアルでは血管の疾患が発覚し、厳しいコンディションであったが、自己ベストのタイムを記録した。



写真提供：JCF

## 金子 広美 (カネコ ヒロミ)

生年月日：1980年9月9日  
 出場競技：女子ロードレース

東京2020大会がオリンピック初出場。2004年にマウンテンバイクを始め、2008年にロードレースに転向。上り坂を争うヒルクライムレースの大会では6連覇の実績を持つ。40歳で五輪初出場を果たした遅咲きのライダーは、初の舞台で見事完走し奮闘した。

## 女子ロードレース結果

順位	名前	国・地域	フィニッシュタイム
金	アナ・キーゼンホーファー	オーストリア	3:52:45
銀	アミネーク・ファンフリューテン	オランダ	3:54:00
銅	エリザ・ロンゴボルギーニ	イタリア	3:54:14
21	与那嶺 恵理	日本	3:55:13
43	金子 広美	日本	4:01:08

ワールドツアーなどのトップレースでは無線が勝負のカギを握る必需品となるが、オリンピックでは使用禁止とされている。情報伝達が困難な状況で多くの強豪国が苦戦を強いられる中、スタートから抜け出し優勝したのが数学者としての肩書を持つオーストリアのキーゼンホーファーだった。

## 女子個人タイムトライアル結果

順位	名前	国・地域	フィニッシュタイム
金	アミネーク・ファンフリューテン	オランダ	30:13.49
銀	マルレン・ロイサー	スイス	31:09.96
銅	アナ・ファンデルプレーヘン	オランダ	31:15.12
22	与那嶺 恵理	日本	34:34.97

現在のタイムトライアル世界チャンピオンであるファンデルプレーヘンが3位。2021年のUCIロード世界選手権大会で2年連続の銀メダルを獲得しているロイサーが2位。ロードレースで2位となったファンフリューテンが悔しさを晴らし、優勝した。オランダ勢が表彰台を席卷した形となった。





# 学校連携観戦プログラム

## 目の前でオリンピックの迫力を体感

次世代を担う子どもたちに、オリンピック・パラリンピックの競技観戦を通じ一生の財産として心に残るような機会を提供することを目的として、「学校連携観戦プログラム」が実施された。7月25日(日)の女子ロードレース及び7月28日(水)の個人タイムトライアルを556名の市内小中学生たちがゴール会場の富士スピードウェイで観戦し、目の前でオリンピッ

クの迫力を体感した。観戦にあたっては、パーク&バスライド駐車場に学校連携観戦専用の乗降場が設けられるとともに、会場では専用ゾーンで安全安心に観戦した。

- 2021年7月25日(日) 女子ロードレース (429名観戦)
- 2021年7月28日(水) 個人タイムトライアル (127名観戦)

### 女子ロードレース観戦



個人タイムトライアル観戦



学校連携専用レーン



バス待機



バス乗車



# ライブサイトの開催

## 大画面でロードレースの魅力・迫力を体感

ライブサイトとは、競技会場外で、大型スクリーンを利用した競技中継等を通して、誰もが大会の感動と興奮を共有できる場のこと。自転車競技ロードレースは、テレビ中継がされず実況解説のないインターネット配信のみとなるが、ライブサイトは東京2020大会公式イベントとして唯一、テレビ中継されない競技の映像放映ができる。(開催会場自治体のみ)

本市では、市内を通過するロードレースの魅力を十分に伝えるため、競技映像に実況解説を交え、スタートからゴールまでに繰り上げられる駆け引きやレース展開、ロードレースの迫力を感じてもらえる場としてライブサイトを開催。コロナ対策や熱中症対策等、安全安心に楽しんでもらうための対策を実施し、ロードレースコース沿道に子どもからお年寄りまで市民の身近な場所で大会を楽しむことができるコミュニティライブサイトを3箇所、御殿場駅富士山口広場に東京2020ライブサイトを設置した。

2021年7月24日(土)。最高気温30度を超える真夏日となり快晴で迎えたこの日、男子ロードレースが行われ、各ライブサイト会場には多くの人々が訪れた。午後2時過ぎ、中継用のヘリコプターの轟音を皮切りに、ロードバイク、サポートカー等の大集団「コンボイ」が市内を駆け抜けた。ライブサイト会場に訪れた人々はレース中継を楽しみ、選手が駆け抜ける際の風を感じた。ロードレースの迫力や魅力を目の当たりにし、その感動と興奮を心に深く刻んだ。



東京2020ライブサイトロゴ



コミュニティライブサイトロゴ

### 東京2020ライブサイト概要

主催	場所	日程	定員
<ul style="list-style-type: none"> <li>●公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会</li> <li>●静岡県</li> <li>●御殿場市</li> </ul>	御殿場駅富士山口広場	2021年7月24日(土) 2021年7月25日(日)	300人

### コミュニティライブサイト概要

主催	場所	日程	定員
●御殿場市	原里小学校グラウンド	2021年7月24日(土)	300人
	玉穂小学校グラウンド		500人
	柴怒田地区コミュニティ供用施設前市有地		300人

## オリンピックの走りを見た驚きと感動の声を紹介

5歳の娘が開会式から「御殿場頑張れ」と応援していた。オリンピックは、世界の中に日本もあるということも娘が実感できる良い機会だと思った。

オリンピックを間近で体感できる貴重な機会。世界の有名な選手たちが市内を走っているのを見るのは不思議な感覚。一生に一度の貴重な機会となった。

普段とは違う雰囲気新鮮。市内でオリンピックが行われていることを改めて実感できた。世界のトップアスリートが市内を走ることはすごいことだと思った。

先頭と最後尾でこんなに差がつくのかと思った。どうすればあんなに速く走れるのか、すごく速くて驚いた!!

自転車ロードレースを観て、迫力があってすごくスピードが速くてびっくり。細いタイヤなのにすごい!

集団ですごくスピードが出ているのにぶつからず走ることが出来てすごい!



# 東京 2020 ライブサイト in 御殿場市

会 場	御殿場駅富士山口広場
開催日時	2021年7月24日(土) 10時～19時 2021年7月25日(日) 12時～19時
実施コンテンツ	競技中継(ロードレース男子・女子) ステージイベント ・静岡県文化プログラム(三島しゃぎり) ・大会パートナーイベント(毎日新聞/空手演武) ・競技解説 大会パートナー出展(毎日新聞) 東京 2020 大会公式ライセンス商品販売
M C	24日: DJ Roni 氏(Shizu 9 (シズナイン)) 25日: 関谷葉子氏(富士山 GOGO エフエム)
競技解説	24日: 田代恭崇氏 (アテネ 2004 オリンピックロードレース出場) 須田晋太郎氏 (HighAmbition2020jp.) 荻田磨己氏、aoi 氏 (HighAmbition 女子サイクリングアカデミー) 25日: 永井孝樹氏、本田母映氏 (HighAmbition2020jp.)
来場者数(期間計)	延べ 800 人



三島しゃぎり



空手演武



飲料配布



毎日新聞出展



公式ライセンス商品販売



## コミュニティライブサイト 原里会場

会 場	御殿場市立原里小学校グラウンド
開催日時	2021年7月24日(土)10時～19時
実施コンテンツ	競技中継(ロードレース男子) ステージイベント(競技解説) 自転車乗車体験
M C	江ノ上茜氏(富士山 GOGO エフエム)
競技解説	品川真寛氏、村井杏寿沙氏 (MERIDA CYCLING ACADEMY)
来場者数	延べ500人





## コミュニティライブサイト 玉穂会場

会 場	御殿場市立玉穂小学校グラウンド
開催日時	2021年7月24日(土)10時～19時
実施コンテンツ	競技中継(ロードレース男子) ステージイベント(競技解説) 自転車乗車体験
M C	芹澤ゆみか氏(富士山 GOGO エフエム)
競技解説	田代恭崇氏 (アテネ 2004 オリンピックロードレース出場) 小佐野文秀氏 (競輪選手) Tae 氏 (HighAmbition 女子サイクリングアカデミー)
来場者数	延べ 600 人





## コミュニティライブサイト 高根会場

会 場	柴怒田地区コミュニティ供用施設前市有地
開催日時	2021年7月24日(土)10時～19時
実施コンテンツ	競技中継(ロードレース男子) ステージイベント(競技解説) 自転車乗車体験
M C	亀井留巳氏(富士山 GOGO エフエム)
競技解説	永井孝樹氏、本田母映氏 (HighAmbition2020jp.)
来場者数	延べ500人





# 運営を支えたボランティア

## 自分たちのまちで行われるオリンピックを支える

ロードレースコース沿道で、コーン・鉄柵等のレース運営用資機材の設置撤去や観戦客・歩行者の整理誘導に従事したコースサポーター。市内の消防団・火防隊や、体育振興団体等から延べ570名が参加。コースサポーターのうち各種団体の代表者49名は、活動場所ごと10人程度で組まれたグループのリーダー「コースサポーターリーダー」として活動した。当日の活動に万全を期すため、大会前にはリーダーを対象とした研修、全コースサポーターを対象とした活動説明会が行

われた。コースサポーターには、大会エンブレム入りのTシャツ、キャップ等が支給され、一致団結して自分たちのまちで行われるオリンピックを安心安全に開催するために活躍した。

また、御殿場駅や富士スピードウェイでは大会ボランティア「フィールドキャスト」や都市ボランティア「シティキャスト」として活躍する市民の姿も。コースサポーターだけでなく、多くの市民がボランティアとして大会を支えた。

■コースサポーターとして活動した団体

活動場所	団体名
高根地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団第6分団</li> <li>・高根火防隊</li> <li>・高根地区体育振興会</li> <li>・富士岡地区体育振興会</li> <li>・静岡県立御殿場高等学校</li> <li>・株式会社オカムラ御殿場事業所</li> <li>・御殿場市スポーツ推進委員会</li> </ul>
御殿場地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御殿場地区体育振興会</li> <li>・消防団第1分団</li> </ul>
玉穂地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団第4分団</li> <li>・玉穂火防隊</li> <li>・玉穂地区青少年健全育成会</li> <li>・玉穂地区体育振興会</li> <li>・陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地自転車部</li> </ul>
原里地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団第3分団</li> <li>・原里火防隊</li> </ul>

■コースサポーター



■大会ボランティア



■都市ボランティア





## コースサポーターリーダー研修

■日 時：2021年5月23日(日)  
 ■会 場：高根中郷館中郷ホール



## コースサポーターリーダー最終ミーティング

■日 時：2021年7月23日(金)  
 ■会 場：高根中郷館竜良ドーム



■大会組織委員会からの支給品



## コースサポーター活動説明会

【玉穂地区】 ■日 時：2021年6月12日(土)  
 ■会 場：玉穂支所区民ホール  
 【原里地区】 ■日 時：2021年6月26日(土)  
 ■会 場：原里支所大集会室  
 【高根地区】 ■日 時：2021年6月27日(日)  
 ■会 場：高根中郷館竜良ドーム



## INTERVIEW



コースサポーターリーダー 芹澤 利之さん  
 (高根地区体育振興会)

コロナ禍で東京2020大会が1年延期となり、本当に大会が開催されるのか不安でしたが、活動説明会で大会組織委員会よりコースサポーター用のユニフォームや帽子を受け取って当日の活動内容について説明を受けたことで、大会開催が近づいていることを実感しました。

開会式の翌日から開催されたロードレースでは、サポーターが協力し合って資機材の設置や観客の整理誘導にあたり、大きなトラブルもなく無事に競技が開催され大変良かったです。オリンピックという国際的なビッグイベントに携わることができ、一生に一度の大変貴重な経験となりました。



# 大会運営への協力

## 安全・安心で円滑な大会運営を実現した協力体制

市内道路を長時間にわたって交通規制し実施された自転車競技ロードレース。ゴール会場となる富士スピードウェイは有観客での開催となり、全国各地から観客が訪れ、御殿場駅や市内各所に設けられたパーク&バスライド駐車場から輸送が行われた。また、御殿場駅は会場準備や競技運営に携わるスタッフやメディアの輸送の拠点となった。大会開催にあたって交通

規制や関係者輸送により住民生活への大きな影響が予想される中、大会前に交通規制や混雑緩和への理解と協力をお願いするため、地域説明会を開催したほか、チラシの全戸配布や看板・横断幕の設置を行った。

多くの方の協力のもと、大きなトラブルもなく安全・安心で円滑な大会運営が実現した。

### 交通規制への協力

各地区区長や各種団体の代表者等を対象とした地域代表者説明会や、ロードレースコース沿道を中心とした全市民および企業を対象とした地域説明会を大会組織委員会と連携し開催、大会概要や交通規制について説明した。(2020年計6回、2021年計6回開催)

地域説明会の開催とあわせて、交通規制を周知するチラシの全戸配布をはじめ、コース沿道や市内の主要道路を中心とした複数箇所への横断幕・立て看板の設置、沿道の施設を中

心としたポスターの掲示、市特設ホームページおよび広報ごてんばへの記事掲載、同報無線でのお知らせ等、各種方法により市内外へ広く周知し、長時間にわたる大規模な交通規制への協力を求めた。

また、レース当日には、コース沿道店舗の営業に支障が出ないように、静岡県と連携しロードレース観戦目的での駐車自粛を求める看板を設置した。

■地域説明会



■全戸配布チラシにより規制を周知

2021年6月20日配布



■市内複数箇所に横断幕、看板を設置

2021年6月～大会終了まで設置



■コース沿道店舗に観戦目的での駐車自粛看板を設置

10箇所 レース当日設置





## 観客・関係者輸送への協力

JR 御殿場駅富士山口広場は観客や関係者輸送を行うシャトルバスの発着点となった。駅の改札からシャトルバス乗り場までは「ラストマイル」と呼ばれ、駅周辺は大会公式の横断幕等で装飾された。御殿場市民会館や御殿場市役所の駐車場がバスの待機場となった。合わせて、駒門工業団地内企業及び御殿場プレミアム・アウトレットの駐車場がパーク&バスライドの駐車場として活用された。輸送ルート上にはルートを示す「TOKYO2020」の看板が設置された。また、輸送の拠点となった御殿場駅は静岡県が東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技大会輸送関連施設等整備事業費交付金活用によりトイレを洋式化する等の改修を行い、観客の利便性、快適性を向上させた。

全国から集まった観客は、数少ない有観客での開催となった会場での観戦に大きな期待感を持って富士スピードウェイへと向かった。



駅ラストマイル装飾



駅シャトルバス



観客輸送



駅トイレ洋式化



輸送案内

## ロードレース運営用資機材置き場

ロードレース実施の際、交通規制等に必要のコーン・バーや鉄柵等の一時集積場所として道路敷内や沿道公民館等を活用。資材置き場はコースサポーターの集合場所となった。また、静岡県内で使用される資機材のサテライト基地として市5財産区共有地を活用。



資機材置き場



サテライト基地

## 混雑緩和 (TDM※) への協力

円滑なロードレース運営や関係者輸送の実現のため、大会組織委員会、静岡県と連携し、行動時間の変更、経路変更、テレワーク等を呼びかけ、市内道路の混雑緩和に努めた。



※TDM=Transportation Demand Management (交通需要マネジメント)

輸送ルート看板



## 防犯カメラの設置

ロードレースコース沿道及び輸送拠点である御殿場駅における事案を未然に防ぐことを目的に、大会期間中に大会組織委員会及び静岡県が防犯カメラを設置。

防犯カメラ設置場所  
御殿場駅、玉穂支所入口交差点





# ロードレース会場としての盛り上がり

## みんなで東京 2020 大会を盛り上げる

一生に一度の機会を自分たちで盛り上げようと、各地区や学校では独自に様々な取り組みが行われた。

### フラワーレーンプロジェクト

ロードレースのゴール会場である富士スピードウェイの会場内では、観客へのおもてなしとして小学生が育てたアサガオのプランターが並べられた。市内では、御殿場小学校、原里小学校、高根小学校の児童が育てたアサガオが会場を彩った。



### 沿道清掃活動・花でのおもてなし

ロードレース開催に向けたおもてなしの一環として、大会本番で中継映像を通して世界に発信されるコース沿道において、沿道各区や市老連の各老人クラブ、地元サイクリスト団体(NPO富士山ごてんばサイクリングプロジェクト(FGCP))が清掃活動や花植えを実施。



沿道清掃活動



沿道花植え(大沢)



沿道清掃活動(FGCP)

### 高根地区の取り組み

ロードレース沿道の高根地区では、各種地区団体により「高根地区オリンピック・パラリンピック実行委員会」を組織し、大会に向けた機運醸成、大会当日の各種運営について検討。大会当日にはお揃いのエンブレムポロシャツを着用し、コース沿道へ国旗掲出や花のプランター設置、ライブサイト運営補助、公民館でのコースサポーターの休憩所運営等を行った。

また、2019年6月14日(金)高根小・中学校の児童、生徒や地域住民に自転車競技を身近に感じてもらえるよう、BMXライダーの池田貴広さんを講師に迎え、実演を交えた講演が行われた。(高根地区青少年健全育成会主催)



高根地区実行委員会による国旗とプランター



BMX 講演会



## 開催告知横断幕の設置

コース沿道各地区において、ロードレース開催をPRする横断幕を作成し、コース沿道を中心に掲出。ロードレース開催に向けた機運の盛り上げや交通規制の周知を図った。

### 設置場所

仁杉区沢向組集会所	市立西中学校
仁杉区防災広場	市役所玉穂支所
市立原里小学校	柴怒田地区コミュニティ供用施設
市役所原里支所	市役所高根支所
板妻公民館	中郷館
板妻地先	市立高根第2保育園
市立玉穂小学校	(株)オカムラ御殿場事業所付近



## 御殿場高等学校オリンピック・パラリンピック授業

2020年10月、静岡県立御殿場高等学校の創造ビジネス科観光コースの生徒が、自転車競技ロードレースについて学ぶ授業に参加した。NPO富士山ごてんばサイクリングプロジェクトの代表である永井誠一さんが講師となり、地元開催のオリンピックに向けて、自転車競技の概要やロードレースの魅力などについて学ぶほか、実際に生徒がロードバイクに試乗する体験学習や実際のロードレースコースをバスで巡り、おもてなし方策、サイクルツーリズム等について考える授業を行った。



## 自転車の魅力発見！小中学校出前講座

2021年5月から6月にかけて、市内全小中学校の最上級生と特別支援学校の生徒を対象に、ロードレースやサイクリングに関する講座を実施。HighAmbition女子サイクリングアカデミー所属の遠藤杏奈さん、MERIDA CYCLING ACADEMY講師の村井杏寿沙さん、NPO富士山ごてんばサイクリングプロジェクト代表の永井誠一さんを講師に迎え、本大会の見どころや応援方法をレクチャーしたほか、自転車に興味を持ってもらえるようその魅力を伝えた。

- 5月24日(月) 富士岡中学校・原里中学校
- 5月27日(木) 玉穂小学校
- 5月28日(金) 南中学校
- 5月31日(月) 御殿場小学校・印野小学校
- 6月1日(火) 高根小学校・原里小学校
- 6月3日(木) 東小学校
- 6月4日(金) 神山小学校・御殿場中学校
- 6月7日(月) 朝日小学校・高根中学校
- 6月10日(木) 西中学校
- 6月11日(金) 御殿場南小学校・富士岡小学校
- 6月29日(火) 御殿場特別支援学校



# ロードレース開催に向けた準備

## 一生に一度のロードレースの魅力を最大限引き出すために

史上初の延期となった東京2020大会。延期となった「+1年」の期間を生かし、ロードレースの魅力を最大限引き出して大会をより楽しみに迎えることができるよう、様々な準備・事業に取り組んだ。大会当日は、ライブサイト会場での感染症や熱中症等に対する各種対策を講じ安全安心に観戦しても

らうとともに、ライブサイト会場周辺には体の不自由な方のための優先駐車場やサイクリスト向けのサイクルラック等、多様なアクセス方法を確保するなど、より多くの方にロードレースを楽しんでもらえるよう環境を整えた。

### 応援グッズの製作

オリジナルデザインがプリントされたカウベル及び各国の選手を応援する言葉が書かれた「応援ハリセン」を製作。大会当日にライブサイト会場で貸出・配布され、コロナ対策として声を出しての応援に代わるスタイルとして、市内を駆け抜ける選手の応援に活用された。選手が通過する際は自転車レースの本場ヨーロッパを思わせるようなカウベルの音色が鳴り響いた。

※応援ハリセンは小山町、裾野市との2市1町共同事業で製作。



カウベル



ハリセン



### 東京2020大会御殿場市特設ホームページでのロードレース情報の発信

大会を知って楽しみにしてもらうため、大会開催の1年前となる2020年7月23日(木)に自転車競技ロードレースの競技や魅力、観戦方法、当日の交通規制等に関する情報をはじめ

めとして、大会に向けた御殿場市の取り組み、ライブサイト情報を掲載した特設ホームページを開設した。(詳細は112ページ参照)





## ガイドブック・マップの製作

自転車競技ロードレースのコースや交通規制情報、競技の見どころ等を紹介するとともに、ホストタウンや市ゆかりのアスリート情報等、市に関連する情報を網羅的に掲載した「御殿場市ガイドブック」を製作。市民に大会を全力で楽しんでもらえるよう、大会開幕直前となる2021年7月20日号の広報ごてんばにあわせ市内全戸へ配布した。

また、小山町・裾野市と連携し、ロードレース競技の歴史

や魅力を詳しく紹介する「自転車競技ロード応援ガイドブック」と、ロードレースコースの見どころを紹介する「ロードレースコースマップ」を製作。応援ガイドブックは2021年5月、市内小中学生全員に配布し、小中学校での自転車の魅力を伝える出前講座で活用した。(詳細は44ページ参照)

コースマップは御殿場市ガイドブックとあわせ市内全戸に配布した。

### 御殿場市ガイドブック



### 自転車競技ロード応援ガイドブック



小学生版

中学生版



### ロードレースコースマップ

**7.24@11:00~**  
男子ロードレース

**7.25@13:00~**  
女子ロードレース

**7.28@11:30~**  
個人タイムトライアル

オリパラ担当オススメのみどころポイントはここだ！

ポイント	男子ロードレース	女子ロードレース	個人タイムトライアル
1 道の駅すばしり&市街地エリア	通過 13:26 男子 スタートタイム 13:26 女子 16:15	通過 13:55 男子 スタートタイム 16:15 女子 -	通過 14:20 男子 スタートタイム 16:15 女子 20:11
2 高根藤田地区エリア	通過 7:26 男子 スタートタイム 14:08 女子 15:27	通過 7:26 男子 スタートタイム 14:18 女子 -	通過 7:26 男子 スタートタイム 14:33 女子 -
3 五橋エリア	通過 7:26 男子 スタートタイム 16:32 女子 -	通過 7:26 男子 スタートタイム 15:37 女子 16:30 18:54	通過 7:26 男子 スタートタイム 16:30 女子 19:46
4 原里エリア	通過 7:26 男子 スタートタイム 16:32 女子 -	通過 7:26 男子 スタートタイム 16:42 女子 -	通過 7:26 男子 スタートタイム 16:42 女子 -
5 富士裾野工業団地北交差点エリア	通過 7:26 男子 スタートタイム 16:32 女子 -	通過 7:26 男子 スタートタイム 16:42 女子 -	通過 7:26 男子 スタートタイム 16:42 女子 -
6 須山交差点エリア	通過 7:26 男子 スタートタイム 16:32 女子 -	通過 7:26 男子 スタートタイム 16:42 女子 -	通過 7:26 男子 スタートタイム 16:42 女子 -
7 富士公園エリア	通過 7:26 男子 スタートタイム 16:32 女子 -	通過 7:26 男子 スタートタイム 16:42 女子 -	通過 7:26 男子 スタートタイム 16:42 女子 -
8 権助花のおもてなしエリア	通過 7:26 男子 スタートタイム 16:32 女子 -	通過 7:26 男子 スタートタイム 16:42 女子 -	通過 7:26 男子 スタートタイム 16:42 女子 -
9 明神峠エリア	通過 7:26 男子 スタートタイム 16:42 女子 -	通過 7:26 男子 スタートタイム 16:42 女子 -	通過 7:26 男子 スタートタイム 16:42 女子 -
10 上榮藤田エリア	通過 7:26 男子 スタートタイム 16:42 女子 -	通過 7:26 男子 スタートタイム 16:42 女子 -	通過 7:26 男子 スタートタイム 16:42 女子 -

## 2020 CYCLE ROADRACE COURSE MAP

**応援するなら...**

- 広い歩道や、寛かなスペースが あり場所です！
- バイクやハリアンなど、貴の心を 満たしてくれるスポット！

男子コース  
女子コース  
TTコース



## ロードレース開催に向けた環境整備

ロードレースのコースとして使用される道路の日常的な点検・維持補修を行い大会に備えるとともに、コースとなる国道、県道、市道の一部には矢羽根（自転車の通行域を示す青い矢印模様）が描かれた。

大会前には仁杉・柴怒田地先の新御殿場インターチェンジ周辺の市道 0106 号線、一般県道仁杉柴怒田線、国道 469 号及び国道 138 号の道路整備が完了し、ロードレース開催に伴う交通規制による住民生活への影響が緩和された。



市道 0106 号線



新御殿場インターチェンジ

富士スピードウェイでの観戦客、大会ボランティアやスタッフに向けたおもてなしの一環として、J R 御殿場駅に五輪の 5 色を表現した花のプランターを設置。



矢羽根

## 熱中症対策（救護所等の設置）

真夏の炎天下での熱中症等の緊急事態に備え、各ライブサイト会場では救護所が設けられ、熱中症対策として、飲料や塩飴の配布が行われた。上柴怒田地区では静岡県により休憩ポイントが設けられ、瞬間冷却バックや保冷剤、塩飴の配布

が行われた。また、富士スピードウェイ観戦客のシャトルバス発着点となった御殿場駅においても、保冷剤等の熱中症対策グッズが配布された。



飲料配布



静岡県休憩スポット



配布グッズ  
(瞬間冷却バック、保冷剤)



## ライブサイトの感染症対策

安全安心に楽しんでもらえるよう、ライブサイト会場における感染症対策として、以下の事項を実施。

### 会場変更

▶屋内で実施予定であった会場を屋外会場へ変更（原里支所大集会室→原里小学校グラウンド、玉穂小学校体育館→玉穂小学校グラウンド）

### 人数制限

▶各会場の定員を各会場収容人数の半分に制限

### 入場者管理

▶入場時において検温及び健康チェックシートの記入をするとともに、東京2020ライブサイトは県民限定、コミュニティライブサイトは市民限定の入場とした。入場者にはチェック済みのリストバンドを配布。また、会場内では水分補給を除く飲食を禁止とした。

### 会場内での注意喚起

▶マスクの着用やソーシャルディスタンスの確保等を促す注意喚起看板を会場内に設置。また、会場内で視覚的に注意喚起するビブスを着用した職員を配置した。

### 消毒グッズの設置・配布

▶会場内各所にアルコール消毒液を配置するとともに、入場時に大会情報が印刷された市オリジナルデザインのアルコールウェットティッシュを配布。



注意喚起看板



アルコール消毒



リストバンド



入場時検温



健康チェックシートの記入



入場時検温

## サイクルラック・アクセシブル駐車場の整備と公共交通の維持

ロードレース実施に伴う大規模な交通規制が行われるため、徒歩での来場が基本となるコミュニティライブサイトでの観戦において、車いすなど、体の不自由な方でも観戦ができるようアクセシブル駐車場（障がい者用駐車場）を玉穂会場周辺に計50台分整備した。あわせてサイクリスト向けにサイクルラックを陸上競技場に配備した。

また、交通規制中においても住民生活の足となる公共交通を維持するとともに、公共交通を利用してライブサイトに来場ができるよう、交通規制の影響が及ばない範囲で路線バスの折り返し運行をバス会社へ要望し実現。

### ■ アクセシブル駐車場

JA 御殿場玉穂支店駐車場  
玉穂報徳会有地  
総合体育施設駐車場

### ■ サイクルラックの設置

市陸上競技場  
コミュニティライブサイト高根会場

### ■ コミュニティライブサイト会場関係の路線バス

御殿場駅～市民交流センターで折り返し  
御殿場駅～北畑入口で折り返し



アクセシブル駐車場



サイクルラック

## 御殿場市運営本部の開設

ロードレースの競技開催日、市では御殿場市運営本部を開設。市内各所に市職員を配置し交通状況や交通規制による影響の情報を集約し対応した。

市運営本部はロードレースのゴールとなった富士スピードウェイに設置された大会競技運営本部(市職員を派遣)と連携、

円滑な競技運営を支えた。

また、コールセンターを開設し、交通規制時間の案内などロードレース開催に伴う市民からの問い合わせに即座に対応できる体制を整えた。

